

おいしさ、そして、いのちへ。  
Eat Well, Live Well.

AJINOMOTO®



※料理・食器は参考資料をもとに再現したイメージです。

偉人の食卓

The recipe made him  
a great man.

# 徳川光圀

このラーメンが  
目に入らぬか。

徳川家康の孫にあたり

水戸の黄門様として知られる徳川光圀は、

非常に好奇心旺盛な藩主だった。

その性格は食の面でも遺憾なく発揮され、

ある時期うどんにハマった光圀は

食べるだけでは飽きたらず、

自らうどん打ちまでするようになった。

中国の儒教にも傾倒していた光圀には、

側近として長崎から招いた朱舜水<sup>しゅじゅんすい</sup>という儒学者がいた。

その朱舜水が光圀のうどん打ちを

見ながら思いついたのか、

中国から材料を取り寄せ、中華麺にして献上した。

麺はレンコンから精製されたてんぶんから作られ、

五辛と呼ばれる5つの薬味を添えたものだったといわれる。

現代のラーメンが全国に広がるのは

関東大震災後とされるが、

光圀が食したのはその元祖だったのかもしれない。

光圀はほかに餃子、チーズ、牛乳酒なども

日本で最初に口にしたという説まである。

残された書物などには「天下の副將軍」として

諸国を漫遊した確かな事実はないらしいが、

食に学問に自由闊達だった光圀のキャラクターから、

そのようなイメージを持たれるのも大いに頷ける。

食は人をつくる。



Mitsukuni Tokugawa

